



イマジン ロータリー

起承転結

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 入中英雄

職業奉仕月間

第 3317 回例会	No24	2023. 01. 25	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分	「我ら日本のロータリアン」	
四 つ の テ ス ト	黒岩久登 君		
ゲ ス ト	田上俊光ガバナー補佐 (串間 RC)		
例 会 行 事	ガバナー補佐公式訪問・結婚・誕生者卓話		

会長時間

イマジンロータリー

本日は第2730地区宮崎県南部グループの田上ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会です。心より歓迎いたします。

10年に1度の今季最強寒波で、北陸・山陰地方をはじめとして、日本全国のあらゆる交通網がマヒしたり、人々の暮らしにも大きな影響を与えています。南国宮崎でも昨日雪がちらつきましたね。今朝、我が家の庭先の水道を見て驚きました。少しだけ出ている水が凍って見事につららになっていたのです。他にもたまり水やバケツの水もことごとく凍っていました。

会員の皆様も寒さ対策を十分に、くれぐれもお体にはお気をつけてお過ごしください。

さて、私の持ちネタの引出しがどんどん少なくなってまいりましたので、2週続けてとなりますが、今週も建物にかかわる話をさせていただきます。

歴史ある大社・神社・神宮等で道具のない時代の建築物の特徴で、築500年以上の建築物には工道具はそれほど発達していなかったと思われま。大陸から製鉄の技術が伝来する前には、大工の道具もたいしたものもなかったと思います。歴史ある有名な神社には動物の角のような昆虫の触角のようなものがあるのはご存じでしょうか？さて、その角のことをなんと言うのでしょうか？これは「千木」と呼ばれています。道具もそれほど発達していなかったため、屋根を作る2本の破風を頂点で固定することが難しかったようです。そこで2つの材を交差させて交点を藤のか何かで縛って固定していたので屋根を貫いて角のように突出させないと納まらなかったと考えられています。それゆえに千木は1,500年以上前の屋根を作る技術の名残りだと言えます。

一般には棟の上に互いに交差した千木をのせただけの物が多く、これを置千木と言います。古墳時代の埴輪にも棟の上の両端だけでなく中間にも数組の千木があるものもあり、これは垂木の上端が屋根を貫いたもののようなのです。

奈良県と宮崎県のかやぶき屋根の民家の屋根に多く見られたそうです。古い時代の技術もなかなか工夫がされていると感じました。

幹事報告

1) お遍路道ウォークのご案内が届いております。

委員会報告

親睦委員会 誕生 石灘寛樹君 (1965) 中山智司君 (1968)

結婚 甲斐信之君 (1985)

甲斐信之君（結婚）



本日は、結婚記念のお祝いを頂きましてありがとうございます。

私が結婚したのは昭和60年1月14日、今年で38年目を迎えました。妻とは職場結婚で1歳年上の姉さん女房です。

現在は、妻と2人暮らしですが、子供は3人、全員日南市内に就職し、すでに結婚しており孫が2人おります。子供たち3人は、たぶん直接的または間接的に皆さんにお世話になっていると思います。

せっかくの機会ですので、本日は当金庫が現在日南市で取り組んでいる地域活性化事業「日南デザインゼミナール」の概要についてお話をさせていただきます。

まず、本事業は、日本財団「わがまち基金」を活用したプロジェクト事業であり、日本財団の前身はご存じの通り、日本船舶振興会です。

「わがまち基金」とは、地域の課題解決および地域の明るい未来の実現に向けた事業や担い手の育成等を支援し、人口減少、高齢化等といったわが国が抱える様々な課題解決に向け、地域が独自の強みを活かした自立的かつ持続可能な社会の創成を図ることを目的とするプロジェクトであり、地域の課題解決に取り組む信用金庫に助成金を交付するものであります。

実は約6年前、私が旧南郷信金経営企画課長時代、当時の阿部理事長より指示を受け、油津の銀天街アーケードの修復等、油津商店街の活性化を目的として日高君にも協力して頂き、当時助成金の上限である1千万円を申請しようと東京から基金担当者を招き商店街の視察までされましたが、その時は油津地区という狭い地域に限定されており、日南市全体の活性化に繋がる事業でなければ厳しいと判断され、私の力不足もあり残念ながら申請に至りませんでした。

その反省も踏まえ、4年前に県内の4金庫が協力し各金庫250万円の総額1千万円の助成金を申請することとなり、東京でのプレゼンテーションを無事通過し助成金を確保しました。

ところがその後、皆さんご承知の通り、南郷信金は令和2年1月に合併し宮崎第一信用金庫となったことから事業が中断、さらに翌2月以降は新型コロナの発生により、様々なイベントが中止もしくは延期を余儀なくされ、令和2年度、令和3年度の2年間は助成金が取消されないよう事業計画の見直しを行ってまいりました。

このような経緯を踏まえ、今回の「日南デザインゼミナール」は、旧南郷信金時代に確保した250万円の助成金を活用して、日南の飲食業を経営する事業者を対象に、現在の自社商品をブラッシュアップし、日南ブランド商品を地域外へ売込むことで自社事業拡大と日南のアピールを行うことを目的としております。

9月15日に開催した「日南デザインゼミナール」のセミナー及び事業説明会には、日南市内より14社が参加されました。

まず、驚いたのは、参加者がすべて30才代～40才代の若い事業者及び後継者の方々であり、チャレンジ精神旺盛な若い事業者が自社の商品をどうにかして売り込みたいと、熱心に取り組んでいる姿でした。

具体的な内容は、専門家のアドバイスにより、自社の元々の商品のパッケージデザインを刷新し、商談会、即売会、SNS等により発信力を高め、地域外に売り込むこととしております。

予算の関係上、14社の中から3社を厳選させていただきました。

昨年10月から4回のワークショップを行い、それぞれの商品パッケージを作り上げております。

最終的には、3月に幕張で開催される「Foodex Japan2023」国際食品・飲料展に出展し、全国から集まるバイヤーとの商談を行ないます。

4月には、新宿みやざき館「KONNE」において約1週間の即売会を行うこととしております。

さらに、今回は日南市の後援を受け、担当の市職員もオブザーバーとして参加しており、日南市の「ふるさと納税」の商品として推薦したいと考えております。

商品が出来上がりましたら、会員の皆さんにも是非見て試食頂き、ご意見、ご感想をお聞かせ願えればと思っておりますのでよろしくお願い致します。

最後に、ロータリークラブの会員増強が喫緊の課題となっておりますが、日南には、事業を通じて地域に貢献したいという熱意を持った、将来の会員候補となり得る若い世代の事業者は確実に育っていると感じました。

今後も地域活性化のために少しでもお役に立てるよう取り組んでまいります。

本日は、ありがとうございました。

中山智司君（誕生）



本日は誕生日をお祝いいただきありがとうございます。

私は1968年1月5日生まれの申年、山羊座です。生まれは串間市です。父親が自衛官で、父親が串間市の高畑山レーダー基地に勤務していた時に生まれました。その後、父親の異動と共に三重県に移り住み、最後は新田原基地への異動となったことから宮崎に帰って参りました。

ちなみに、私の家族の誕生日は私が1月で、妻が2月、長女が3月で、次女が4月となっております。私が最初の1月であることから、何とか家族には祝ってもらって

います。

今回の誕生日をもって私は55歳となり、銀行では達齢となりました。昔、銀行は55歳が定年でありました。近年は58歳程度までは現職を働くことが可能となりました。支店長の役職はそのままですが、55歳になると、いわゆる行員でなく先任行員となる為、給料が下がります。部下行員には「今後、飲みの誘いは減るよ。」と伝えました。

55歳まで働けたのも家族と周りの職員の方々、お客様方々のおかげだと感謝しております。

誕生日はというと、長女がコロナに感染したことから、仕事納めから自宅には帰っておらず、正月は1人暮らしで、誕生日も1人でした。1人しみじみと今までのことを思い出しながらうまい酒を飲むのも一種格別でした。引き続き皆様への感謝の気持ちをもって、今後も平穩に暮していきたいと考えております。本日は本当にありがとうございました。

ガバナー補佐アドレス

田上俊光ガバナー補佐（串間RC）



歴史ある日南ロータリークラブの例会を見させていただきさすがだなと思いました。先日クラブ活性化セミナーが開催されコロナ禍の現状と未来のロータリーについての話し合い行われました。いろいろなクラブ（団体）とロータリークラブの違いについての意見交換を行いました。ロータリークラブにおいては、奉仕、勉強、親睦を基本とした団体であると言う事を確認しました。

コロナ禍の中ロータリー活動も大変な時期ですが心地よいクラブを目指し活動を展開して頂きたいです。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HIC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	29	5	24	21	1	2	22	91.66%
出席免除	清水、渡邊、落丸、土屋、小玉							
先取MU	石灘							
欠 席	齋藤(奈)、菊池							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：入中英雄 副会長：黒岩久登 幹事：斉藤篤史 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jp まで送信してください。